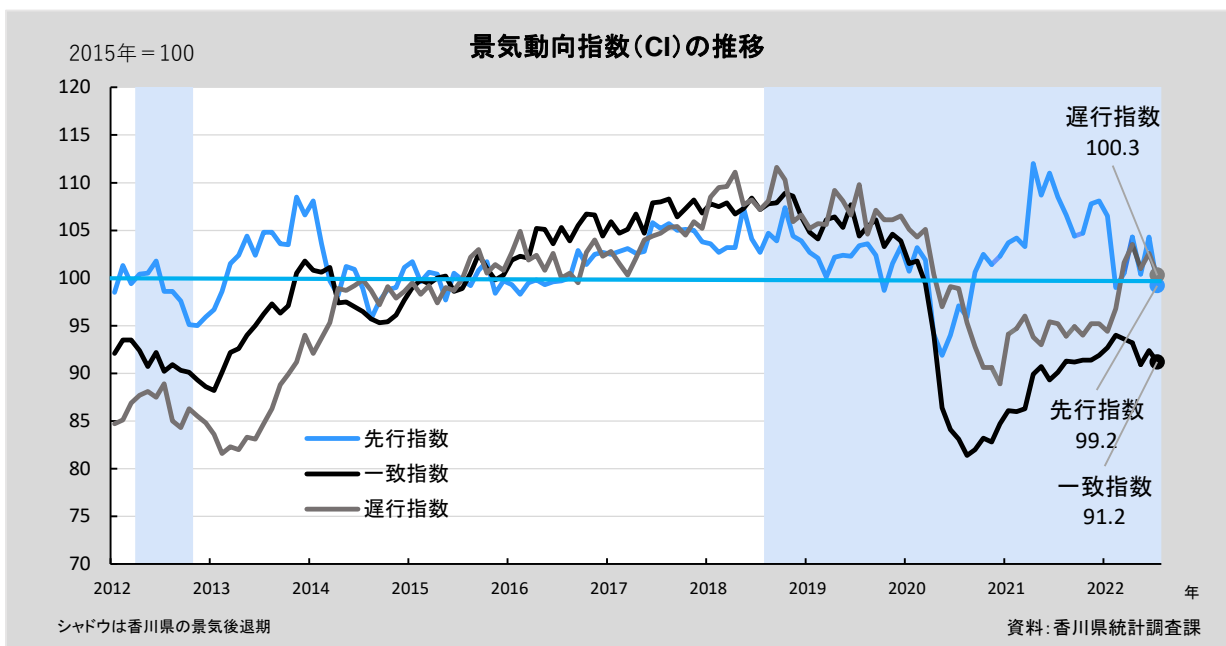


概況	景気は、緩やかに持ち直している。
個人消費	緩やかに持ち直している。
住宅投資	弱含んでいる。
公共投資	減少している。
生産活動	横ばいで推移している。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直している。

景気動向指数(かがわ CI) 一致指数 2カ月ぶり下降



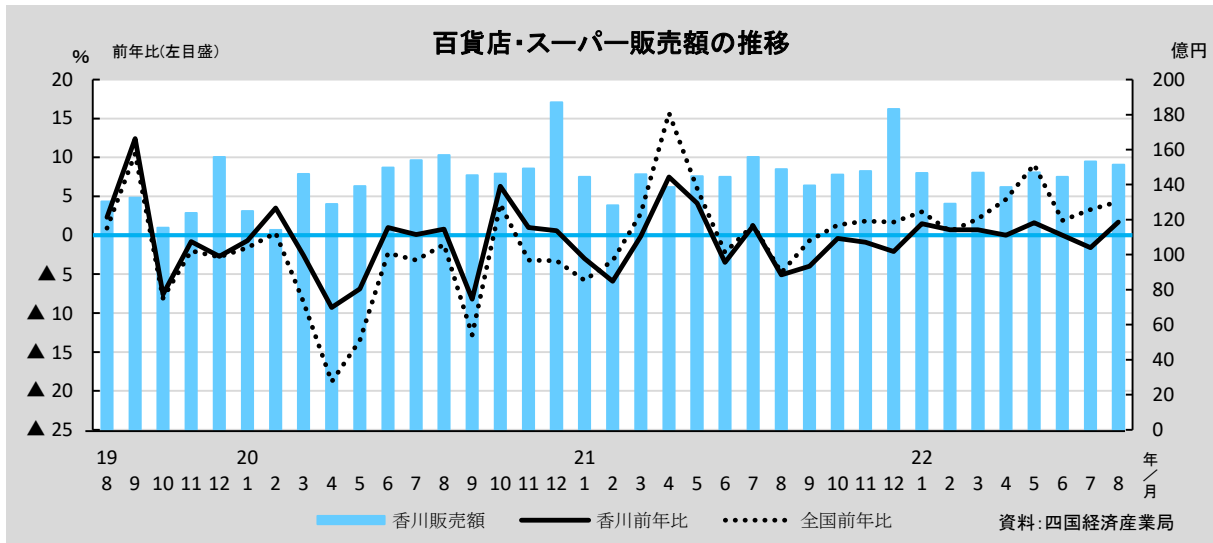
景気の現状をみると、7月のCI一致指数は91.2（前月比▲1.2ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI先行指数は99.2（同▲5.1ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は100.3（同▲2.3ポイント）と2カ月ぶりに下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、有効求人倍率、百貨店・スーパー既存店販売額などが下降に寄与したことにより、前月から1.2ポイントの下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 1.43	1 雇用保険受給者実人員	0.30	1 常用雇用指数	1.05
	2 乗用車新車登録台数	0.54	2 有効求人倍率	▲ 0.33	2 有効求職者数	0.10
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 1.60	3 所定外労働時間指数	▲ 0.81	3 消費者物価指数	▲ 0.23
	4 生産財生産指数	▲ 0.77	4 鉱工業生産指数	▲ 0.04	4 家計消費支出	▲ 0.89
	5 新設住宅着工戸数	▲ 0.59	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.19	5 鉱工業在庫指数	1.09
	6 金融機関貸出残高	0.51	6 建築着工床面積	0.07	6 法人事業税調定額	▲ 1.97
	7 消費者態度指数	▲ 1.49	7 百貨店・スーパー既存店販売額	▲ 0.19	7 第3次産業活動指数	▲ 1.16

●百貨店・スーパー販売額

3カ月ぶり増加 ↑

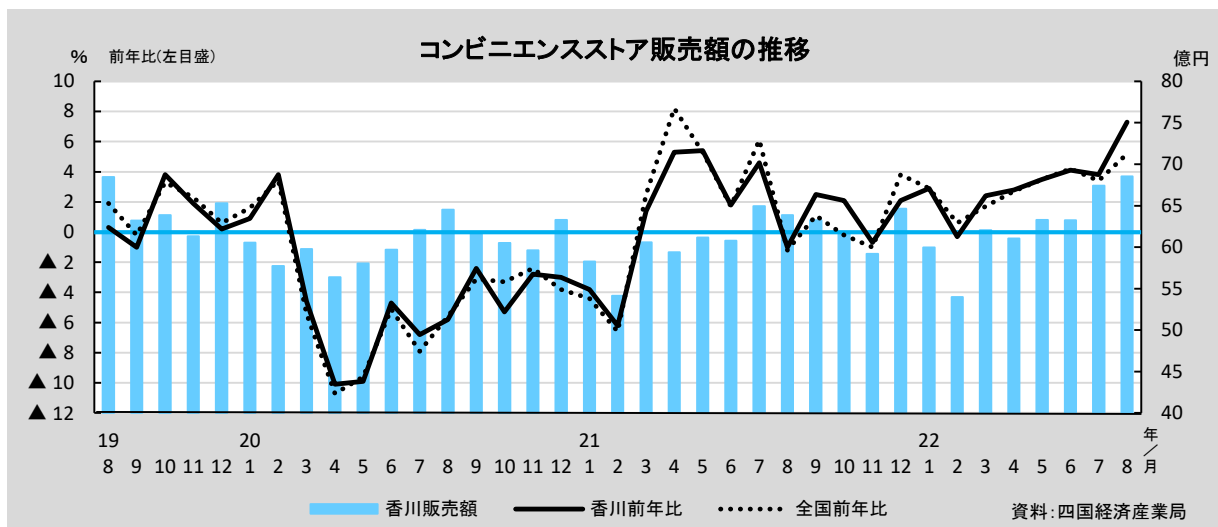


2022/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	77,437	52,075	1,171,353	2,003	5,069	24,470	180,844	398	1,513,649
前年同月比(%)	16.9	12.5	0.7	33.1	▲ 25.6	1.3	0.4	14.4	1.7

8月の百貨店・スーパー全店（84店）の販売額は151.4億円で、前年同月比+1.7%と3カ月ぶりに増加した。旅行などの外出機会の増加で「衣料品」は+16.9%、「身の回り品」は+12.5%と好調だった。

●コンビニエンスストア販売額

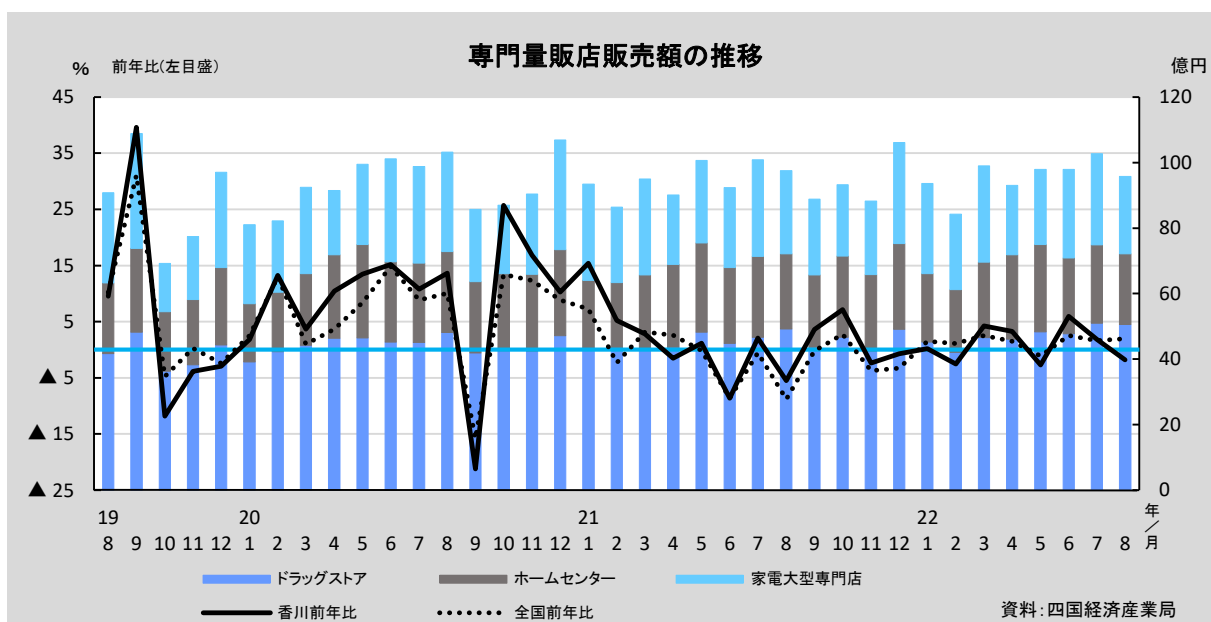
6カ月連続増加 ↑



8月のコンビニエンスストア全店（408店）の販売額は68.5億円で、前年同月比+7.3%となった。3年ぶりに行動制限のない夏休み・盆休みだったことで入店客数は増加し、カウンターコーヒーやフライヤー商品が伸びた。また、気温高で飲料やアイスクリームなどの季節商品の動きが良かったことから、6カ月連続の増加となった。

●専門量販店販売額

3カ月ぶり減少

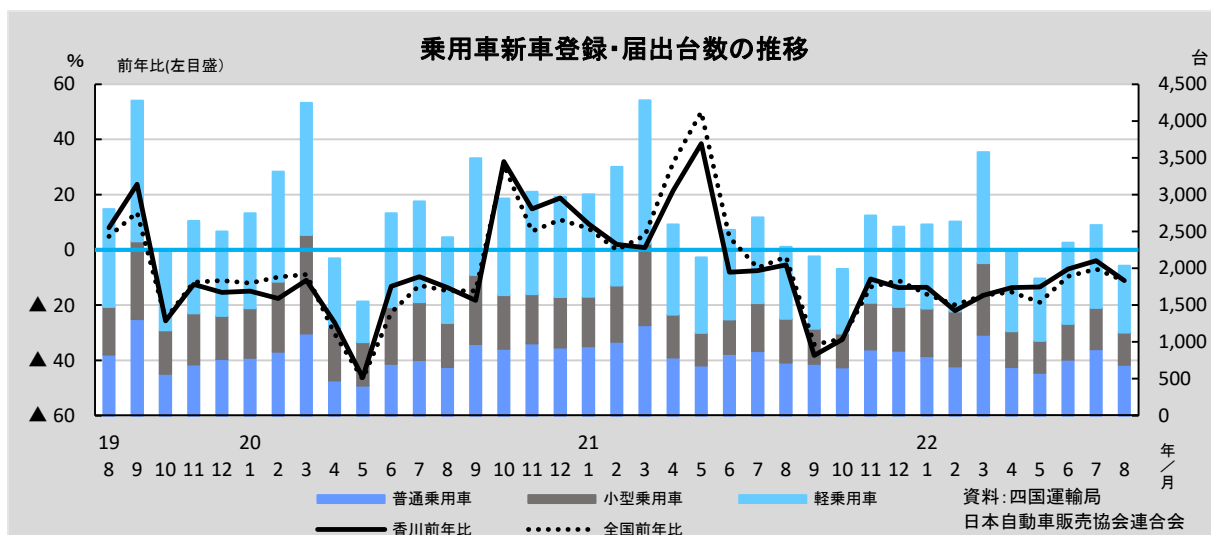


8月の専門量販店全店（209店）の販売額は95.8億円で、前年同月比▲1.8%と3カ月ぶりに減少した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（29店）は、テレビなどビジュアル家電の動きが悪く、販売額は23.6億円で前年同月比▲6.9%、**ドラッグストア**（134店）は、外出機会の増加で、抗原検査キット、マスクなどのコロナ対策商品が伸張し、販売額は50.6億円で同+2.9%となった。**ホームセンター**（46店）は、入店客数が減少しDIY用具が振るわず、販売額21.6億円で同▲6.2%となった。

●乗用車新車販売台数

15カ月連続減少



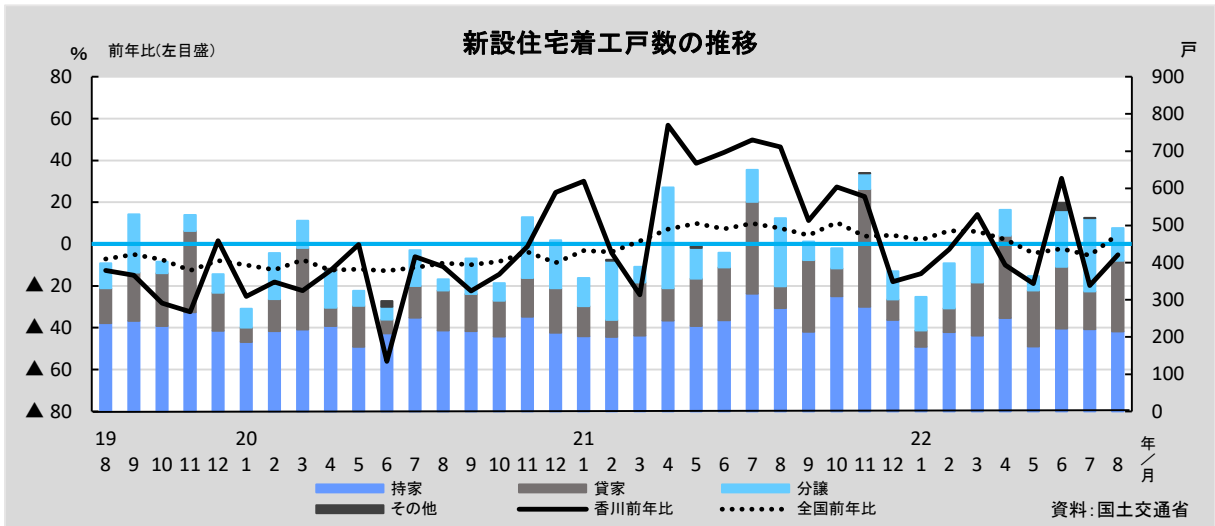
8月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は2,037台で、世界的な半導体や部品不足が解消されず供給遅れが続き、前年同月比▲11.1%と15カ月連続で減少した。

車種別にみると、普通乗用車で前年同月比▲4.2%、小型乗用車で同▲26.6%、軽乗用車で同▲6.7%となった。

住宅投資 弱含んでいる

● **新設住宅着工**

2 カ月連続減少 ↓

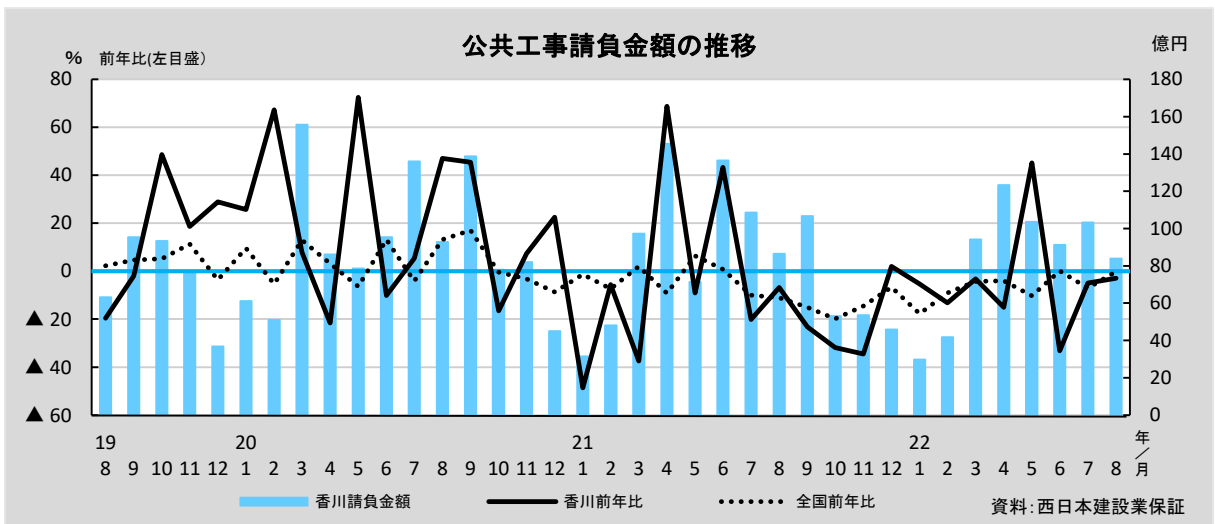


8月の新設住宅着工戸数は493戸で、前年同月比▲5.2%と2カ月連続で減少した。利用関係別にみると、**持家**で前年同月比▲22.7%、**貸家**で同+227.6%、**分譲住宅**で同▲52.2%となった。

公共投資 減少している

● **公共工事請負金額**

3 カ月連続減少 ↓



8月の公共工事請負金額 83.9 億円で、前年同月比▲3.0%と3カ月連続で減少した。発注者別にみると、**国・独立行政法人等**で前年同月比+63.4%、**県**で同▲50.6%、**市町**で同+60.4%となった。

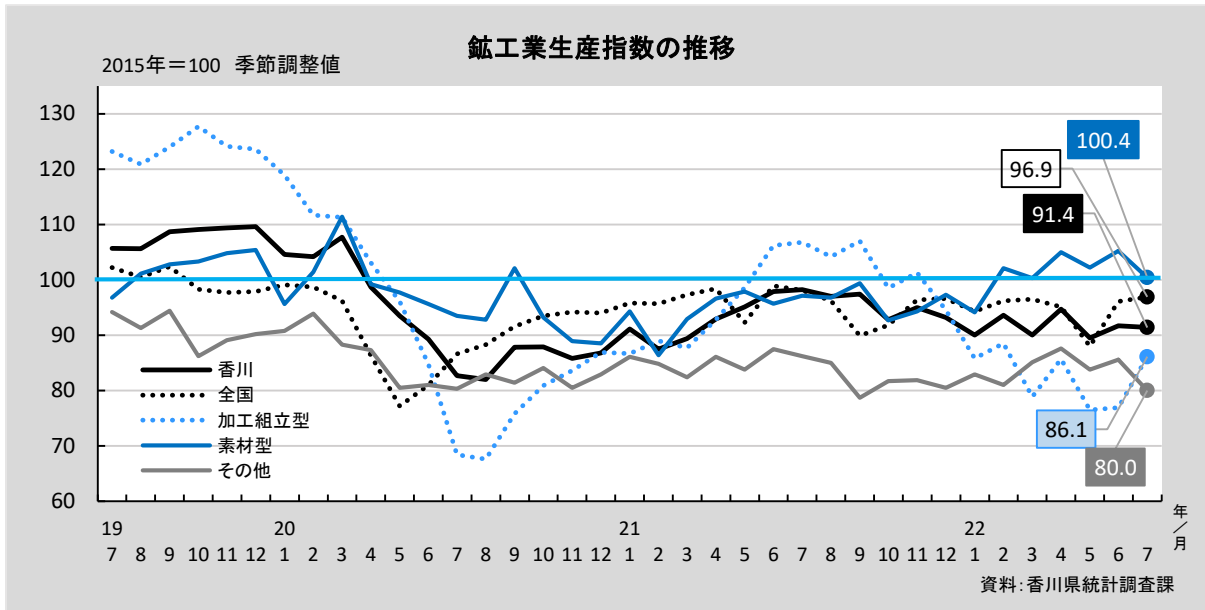
2022.4月～8月の累計では前年同期比7.8%減少している。

生産活動

横ばいで推移している

● 鉱工業生産指数

2カ月ぶり低下 ↓



7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は91.4（前月91.7）となり、2カ月ぶりに低下した。

業種別では、素材型の非鉄金属工業（電気金など）は前月比▲15.0%、その他業種の食料品工業（食用油など）は同▲9.1%と低下した。

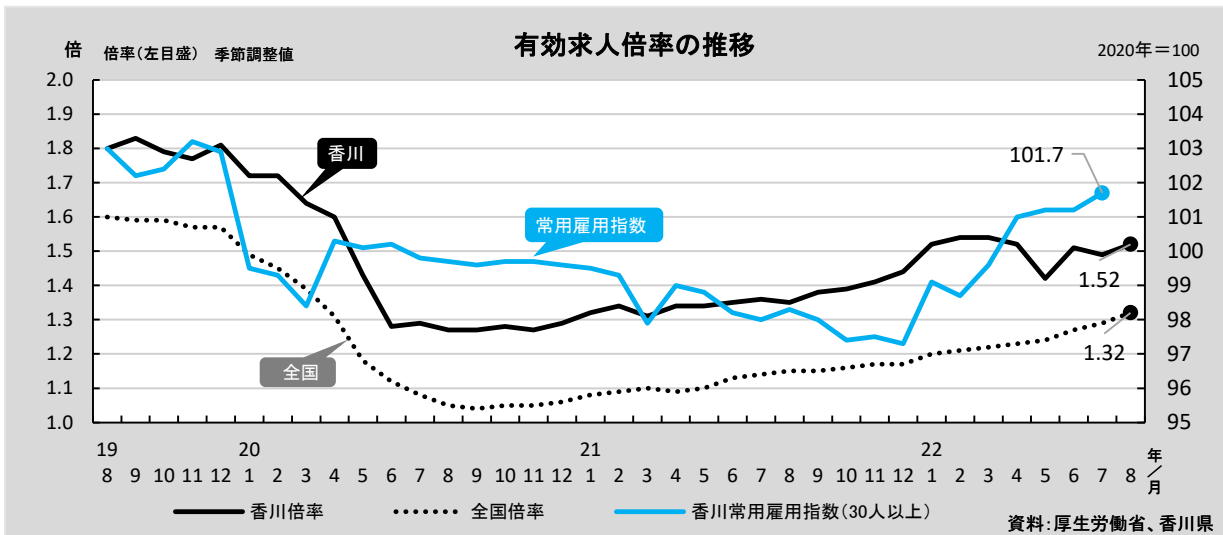
一方、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同+31.1%と上昇した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

2カ月ぶり増加 ↑



8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.52倍（全国15位）と前月より0.03ポイント上昇した。

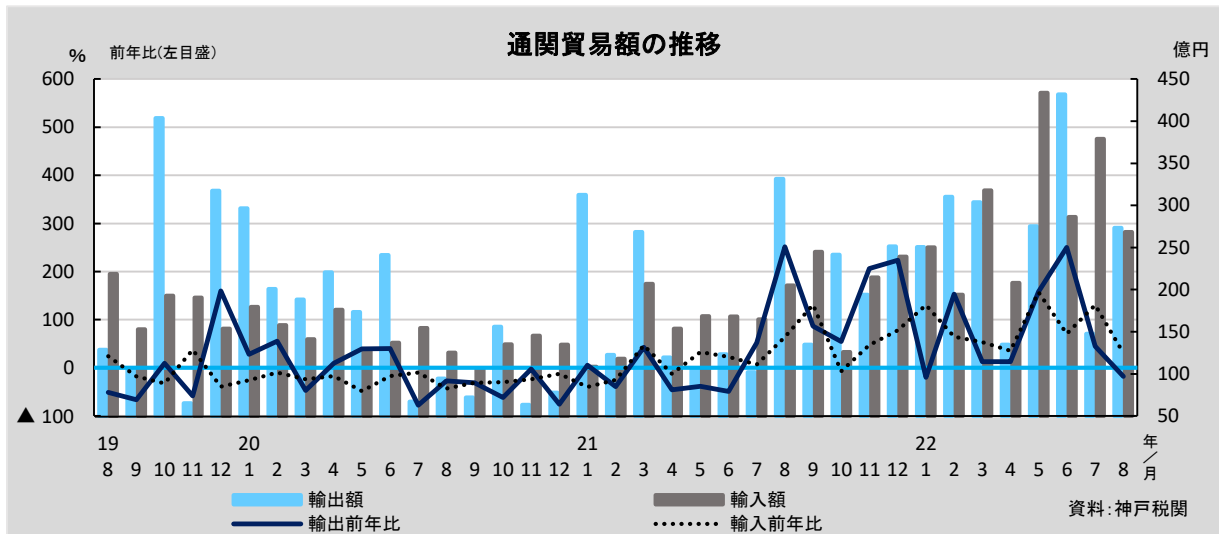
新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、情報通信業、電気・ガス・熱供給・水道業等で増加し、全体で+11.9%と17カ月連続で増加した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、101.7となり、前年同月比は5カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	1.89
事務的職業	0.63
販売の職業	2.56
サービスの職業	3.28
生産工程の職業	2.48
輸送・機械運転の職業	2.14
建設・採掘の職業	6.25
運搬・清掃・包装等の職業	1.15

貿易

輸出は減少、輸入は増加している



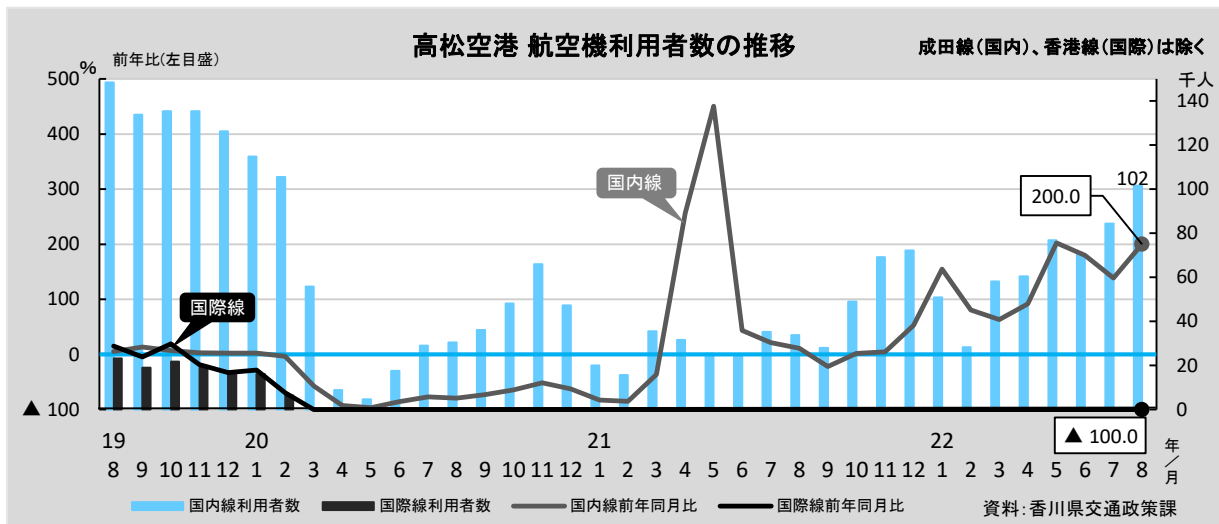
8月の輸出額は前年同月比▲17.6%の273.1億円、輸入額は同+30.9%の268.4億円となり、差し引き4.7億円の出超となっている。

輸出は、タンカー輸出額が前年同月比▲99.5%の0.4億円となった。輸入は、液化石油ガス輸入額が前年同月比3.0倍の42億円となった。

交通

国内線は11カ月連続増加、国際線は30カ月連続全面運休

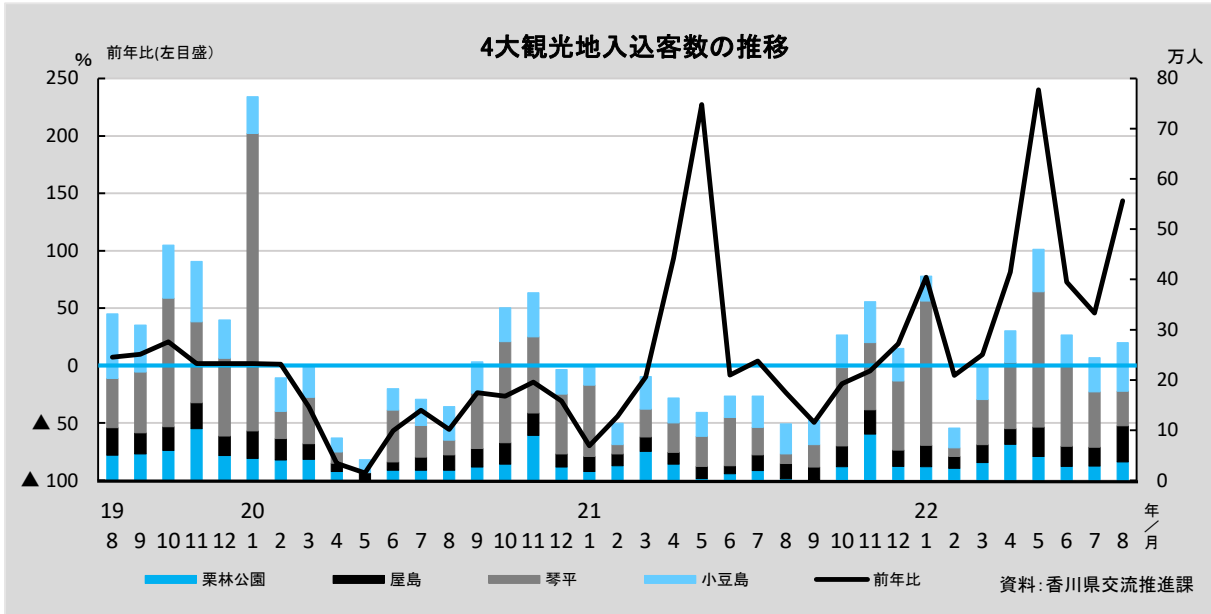
●高松空港旅客輸送実績



8月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が101,576人（前年同月比+200.0%）となり、11カ月連続で増加した。羽田線は96,372人（同+186.2%）、那覇線は5,204人（同+2791.1%）となった。コロナ禍前の2019年同月比では▲31.6%となった。

国際線（ソウル・上海・台北線）は新型コロナウイルスの影響により30カ月連続の全面運休となった。

●主要観光地入込客数

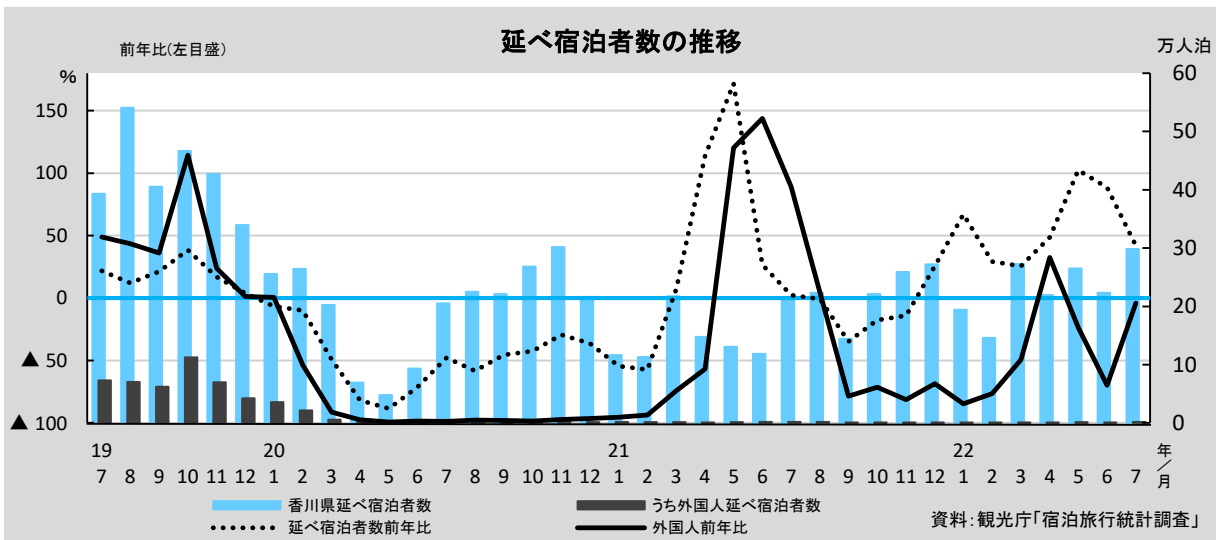


観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
8月(人)	前年同月比	36,833	1083.2%	71,799	135.3%	69,000	263.2%	96,635	61.0%	274,267	143.5%
1~8月累計(人)		299,457	68.6%	341,114	65.4%	1,136,000	125.0%	527,146	28.8%	2,303,717	77.5%

8月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+143.5%と6カ月連続で増加した。瀬戸内国際芸術祭の夏会期もあり、4カ所全てが大幅なプラスとなった。栗林公園は前年同月比11.8倍、屋島は新施設「やしまーる」の開業で同+135.3%、琴平も同263.2%と高い伸びとなった。

1~8月の累計では前年比+77.5%となった。

●延べ宿泊者数



7月の延べ宿泊者数は298,410人で、前年同月比+42.1%と8カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比では▲24.1%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は1,830人となり、前年同月比▲4.2%と3カ月連続で減少した。2019年同月比では▲97.5%となった。